

| 専門分野 精神看護学 | 科目名：精神看護学概論 | 講師：専任教員 | 1 単位 30 時間 (1 年次後期) |
|-------------------|--|---|------------------------|
| 学習目標 | 1. 精神看護の変遷を知り、精神科看護の概念を理解できる。 2. ライフサイクルと精神の発達危機について理解する。 3. 精神看護学の対象及び看護の目的を理解する。 4. 精神看護におけるリスクマネジメントを理解する。 | | |
| 回数 | 主題 | 主な学習内容 | 授業形態 |
| 1 | 1. 精神科看護から 精神看護へ | 1) 精神障害者と治療の歴史 | 講義 |
| 2 | | 2) 日本における精神医学・精神医療の流れ | 講義 |
| 3 | 2. 精神看護学に影響 を及ぼす諸モデル | 1) 医学モデル 2) 精神分析モデル 3) 対人関係モデル | 講義 |
| 4 | | 4) 危機予防モデル 5) 看護モデル | |
| 5 | 3. 精神の健康を理解 するための諸概念 | 1) 精神の機能と構造 | 講義 |
| 6 | | 2) ライフサイクルの各期の心理的特徴 3) 各期の危機状況 | 講義 |
| 7 | 4. 精神の健康に及ぼ す因子 | 1) 生物学的因子 2) 物理学的因子 | 講義 GW |
| 8 | | 3) 心理社会的因子 4) 社会構造因子 | |
| 9 | 5. 生活の場と 精神保健 | 1) 精神保健の概念 2) 暮らしの場と精神保健 3) 学校と精神保健 4) 職場における精神保健 5) 地域における精神保健 | 講義 GW |
| 10 | 6. 看護の対象及び看 護師の役割 | 1) 対象者の幅と看護者の関わる場 | 講義 |
| 11 | | 2) 対象者と看護師関係の治療的関わり 3) 看護師の役割 (リスクマネジメント含む) | |
| 12 | 7. 地域における精神 保健福祉活動 | 1) 相談活動 2) 教育活動 3) 訪問活動 | 講義 |
| 13 | 8. 精神保健福祉制度 | 1) 精神保健福祉の変遷 2) 精神保健福祉法と医療・ 行政 3) 障害者総合支援法 4) 心神喪失等医療観察法 | 講義 |
| 14 | 9. リエゾン精神看護 | 1) リエゾン精神看護とは 2) リエゾン精神看護活動ケアの実際 3) 看護師のメンタルヘルスへの支援 | 講義 |
| 15 | 終講時試験 | 単位認定試験、まとめ | 試験 |
| 履修上の留意点 | | 1. 常に持参のテキストは、「精神看護の基礎」 2. 配布資料は全て持参 3. 学習形態はその都度指示 | |
| 1) テキスト 2) 参考書 | | 1) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学 (1) 精神看護の基礎 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学 (2) 精神看護の展開 医学書院 2) 国民衛生の動向 一般財団法人 厚生労働統計協会 | |
| 評価方法 | | 1. 筆記試験 | |

| 専門分野 精神看護学 | 科目名：精神看護援助技法 | 講師： 臨床看護師 | 1単位 15時間 (2年次前期) |
|-------------------|---|---|---------------------|
| 学習目標 | 精神看護の基本技法を学び、対象理解及び援助に必要な働き方を理解する | | |
| 回数 | 主題 | 主な学習内容 | 授業形態 |
| 1 | 1. 精神障害の理解と看護の基本 ①精神障害者の理解 ②コミュニケーション技術 ③患者－看護師関係 ④入院環境 | 1) 精神障害者の理解と考え方 (1) 情報収集・アセスメント (2) 看護診断 (3) 看護計画 (4) 実施 (SST 含む) (5) 評価 | 講義 |
| 2 | | 2) 接近・接触の技法 (1) ケア的前提 (2) ケアの原則 (3) ケアの方法 | 講義 GW |
| 3 | | 3) 患者－看護師関係の理解 (1) プロセスレコード (2) 患者－看護師関係における感情体験 (3) 関係の視点からみた困難事例 (4) チームのダイナミクス | 講義 |
| 4 | | 4) 環境の調整 (1) 精神障害をもつ人にとっての入院の意味 (2) 治療的環境の整備 | 講義 |
| 5 | | ①環境が人にもたらす影響②効果的な入院治療とするには | 講義 |
| 6 | | (3) 精神科看護における安全管理 (4) 病棟環境の整備 (5) 自殺・自殺企図・自傷行為 (6) 攻撃的行動・暴力・暴力予防プログラム (7) 離院 (8) 隔離・身体拘束 | |
| 7 | 2. 患者家族の理解とその援助 | 1) 患者家族の心理 2) 家族の負担 3) 家族が危機を乗り越えるための援助 | 講義 |
| 8 | 終講試験 | 単位認定試験 | 試験 |
| 履修上の留意点 | | 1. 常にテキスト持参 2. 配布資料は全て持参 3. 学習形態はその都度指示 | |
| 1) テキスト 2) 参考書 | | 1) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学 (1) 精神看護の基礎 医学書院 1) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学 (2) 精神看護の展開 医学書院 | |
| 評価方法 | | 1. 筆記試験 | |

| 専門分野 精神看護学 | | 科目名：精神障害のある 対象の看護 | 講師： 臨床看護師 臨床看護師 | 1 単位 30 時間 (2 年次前期～後期) |
|---------------|----------------------------|--|--------------------|---------------------------|
| 学習目標 | | 1. 診察・検査・治療を受ける対象に必要な看護を理解する。 2. 障害をもちながら生活する対象に必要な支援方法を理解する。 | | |
| 回数 | 主題 | 主な学習内容 | | 授業形態 |
| 1 | 1. 主な症状に 対する看護 | 1) 精神症状と看護 (1) 思考の障害 (2) 感情の障害 (3) 意欲の障害 (4) 知覚の障害 (5) 意識の障害 (6) 記憶の障害 (7) 局在症状 | | 講義 |
| 2 | | (8) 統合失調症患者の看護 | | 講義 |
| 3 | | (9) 気分 (感情) 障害 (双極性障害および関連障害群、抑うつ障害群) 患者の看護 | | 講義 |
| 4 | | 2) 神経症状と看護 (1) 恐怖症性不安障害 (2) 強迫性障害 (OCD) (3) 重度ストレス反応および適応障害 (4) 解離性 (転換性) 障害 (5) 身体表現性障害 (6) その他の神経症性障害 | | 講義 |
| 5 | | 3) 認知症の状態にある患者の看護 | | 講義 |
| 6 | | 4) 精神作用物質使用による精神および行動の障害と看護 (1) アルコール症 (2) 薬物依存 (3) ゲーム障害、ギャンブル障害 | | 講義 |
| 7 | | 5) 各発達段階であらわれやすい精神障害・心的不調と看護 (1) 知的能力障害・知的発達障害 (2) てんかん (3) 発達障害 (4) 摂食障害 (5) パーソナリティ障害 (6) 秩序破壊的・衝動制 御・素行 (7) 周産期にあらわれやすい心的不調 (8) 適応障害 (9) ミッドライフクライシス (10) 高次脳機能障害 (11) 更年期うつ (12) その他 | | 講義 |
| 8 | 2. 診察・検査 および治療に 伴う看護 | 1) 診察に伴う看護 2) 検査に伴う看護 3) 薬物療法に伴う看護 4) 痙攣療法を受ける患者の看護 | | 講義 |
| 9 | | 5) 精神療法を受ける患者の看護 | | 講義 |
| 10 | | 6) 社会療法を受ける患者の看護 (1) 回復の意味 (2) リカバリーのビジョン (3) 治療の場におけるリカバリーの試みと看護の視点 | | 講義 |
| 11 12 | | (4) リカバリーを促す環境 (5) リカバリーを促す方法としてのグループ (6) さまざまな回復のためのプログラム (SST、認知行動療法) (7) リカバリーのプロセス | | 講義 |

| | | | |
|-------------------|------|--|----------|
| 13 | | 7) リハビリテーション療法を受ける患者の看護 (1) 地域保健福祉の考え方 (2) 精神障害をもつ人の社会参加 (3) 地域精神保健福祉における多職種連携 | 講義 |
| 14 | | (4) 長期入院患者の地域生活への移行支援 (5) 訪問看護 (6) 関係性の構築モニタリング機能 (7) 日常生活への援助 (8) 就労支援 | 講義 演習 |
| 15 | 終講試験 | 筆記試験 | 試験 |
| 履修上の留意点 | | 1. 常にテキストは持参 2. 配布資料は全て持参 3. 学習形態はその都度指示 | |
| 1) テキスト 2) 参考書 | | 1) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学 (2) 精神看護の展開 医学書院 | |
| 評価方法 | | 1. 筆記試験 | |

| 専門分野 精神看護学 | 科目名：精神看護学演習 | 講師：専任教員 臨床看護師 臨床看護師 | 1単位 30時間 (2年次後期) |
|-------------------|--|--|---------------------|
| 学習目標 | 1. 精神に障害をもつ対象の看護過程の展開できる。 2. 対象との関わりについて振り返り方法を理解する。 3. レクリエーション等の企画、実施について考えられる。 4. 精神看護に特有な援助技術を理解する。 | | |
| 回数 | 主題 | 主な学習内容 | 授業形態 |
| 1 | 1. 精神に障害のある対象（統合失調症）の看護過程の展開 | 1) 地域での生活を見据えた統合失調症をもつ人の事例をもとに看護過程の展開 (1) 対象理解に必要な情報収集・アセスメント ①情報収集 ②プロセスレコード (2) 看護診断 (3) 看護計画立案 (4) 看護実践 (5) 評価 | 講義 演習 |
| 2 | | | |
| 3 | | | |
| 4 | | | |
| 5 | | | |
| 6 | | | |
| 7 | 2. 看護援助技法演習 | 1) プロセスレコード（統合失調症患者の事例） (1) 発表（ロールプレイ） (2) グループ討議 (3) 修正後の発表（ロールプレイ） | 演習 |
| 8 | | | 演習 |
| 9 | | | 演習 |
| 10 | | 2) レクリエーション、行事等の企画（統合失調症患者の事例） (1) レクリエーションの計画立案 (2) 発表（ロールプレイ） (3) リフレクション | 演習 |
| 11 | | | |
| 12 | | | |
| 13 | | 3) SST(生活機能訓練)（統合失調症患者の事例） (1) SST の実際（ロールプレイ） (2) リフレクション | 演習 |
| 14 | | | 演習 |
| 15 | | | 演習 |
| 履修上の留意点 | 1. 常にテキストを持参 2. 配布資料は全て持参 3. 学習形態はその都度指示 | | |
| 1) テキスト 2) 参考書 | 1) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学 (1) 精神看護の基礎 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学 (2) 精神看護の展開 医学書院 | | |
| 評価方法 | 1. レポート | | |